

自己評価				学校運営協議会評価	次年度への課題と今後の改善方針
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校運営協議会委員の意見	
生徒の視点に立った「わかる授業」と家庭学習の充実	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	
	1 学習指導の充実 (1)生徒の学習意欲を喚起し、主体的に学習する習慣の定着を図る。 (2)授業を重視し、基礎・基本の確実な定着と応用力の育成及び個性を生かす教育の充実を図る。	[教務課] ・科目による展開授業を各学年15講座実施し、少人数指導による効果を生徒・保護者ともに72%以上の肯定意見が得られるようにする。 (R2 生徒78%, 保護者71.4%) ・生徒の授業満足度93%以上(R2 全体平均92.9%)	[教務課]		
		[進学課] ・学習の日における学習時間 学年+1時間 (R2平均学習時間 1年生:2.24時間・2年生:2.44時間)	[進学課]		
		[学年] ・基礎・基本となる力の定着の目安として、丁寧な教科指導の結果としての欠点科目数の減少に努める。 ・自主学習時間の確保に結びつくよう、年間3回は取り組み内容を確認・評価する。 ・学年会を各学期に2回以上実施する。 ・学年集会を各学期に2回以上実施する。	[学年]		
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
	[教務課] ・教師の授業力向上のための公開授業、教職員による検討会の実施	[教務課] ・授業交流週間を年間2回実施、授業参観のべ人数90人以上(R2 授業参観のべ人数82人) ・授業改善や学習評価等について協議する教科会を年間6回実施	[教務課]		
	[進学課] ・平日学習時間として目標「学年+1」時間の定着に努める。 ・高大接続改革の情報共有と、組織的な進路指導体制を維持するため進学行事の精査や改善を行う。	[進学課] ・「学習の日」の設定し、学習時間調査を実施する。 ・タブレット・Classi導入後、Classiを用いた生活・学習調査に移行させ、タブレットを活用した進路指導を研究する。 ・教職員共有フォルダを活用し、各種教材や入試改革情報を共有し、授業や進路指導の改善に資する。 ・一斉テストにおいて、新テストの傾向を踏まえた思考問題を出題し、生徒の思考力や主体性を高める。	[進学課]		
[学年] ・課題(日々のプリント、週間プリントなど)の有効利用をさせる。 ・予習→授業→復習サイクルの習慣化による、学習内容の定着をさせる。	[学年] ・課題の確認(評価を段階的にする) ・「なぜば成るノート」で学習時間を確認し、生徒一人一人に学習習慣の定着を徹底させる。 ・「なぜば成るノート」を活用した面談を年間5回以上実施する。	[学年]			

重点課題	重点目標 (全校レベル)	自己評価		学校運営協議会評価	次年度への課題と 今後の改善方策	
		評価指標と活動計画	評価	学校運営協議会委員の意見		
生徒の視点に立 った「わかる授業」と 家庭学習の充実	1 学習指導の充実 (1)生徒の学習意欲を喚起し、主体的 に学習する習慣の定着を図る。 (2)授業を重視し、基礎・基本の確実な 定着と応用力の育成及び個性を生かす 教育の充実を図る。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見		
		[教科]	[教科]			
		1) 国語 ①月1回の課題提出率90%(R2 80%) ②小テストの定着率90%(R2 75%)	1) 国語			
		2) 地歴・公民 ①小テストの正答率80%(R2 80%) ②小テストの定着率95%(R2 95%) ③予習復習プリント(提出課題)提出率90%	2) 地歴・公民			
		3) 数学 ①週末課題プリント提出率90%(R2 80.1%) ②小テストの実施と再テスト合格率95%(R2 69.9%)	3) 数学			
		4) 理科 ①実験・観察を入れた授業を年間3回以上実施する (R2 3回以上) ②小テストを1単位あたり2回以上実施する	4) 理科			
		5) 英語 ①家庭学習用課題の提出率90%以上(R2 83%) ②語彙力・文法等の小テスト平均正答率70%以上 (R2 69%)	5) 英語			
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況			
		[教科] ○基礎・基本の徹底と定着 ○学習指導法の改善	[教科]	[教科]		
		1) 国語 ・言語に関する知識・理解の深化 ・思考を深める力の育成 ・読む・書く力の向上	1) 国語 ①各単元・授業で思考を問う発問を課す ②評価のフィードバックを行う ③観点別評価を行う	1) 国語		
	2) 地歴・公民 ・基礎・基本の徹底 ・思考を深める力の育成	2) 地歴・公民 ①小テストや予習復習プリント(提出課題)を実施する ②共通テスト対策に取り組ませ、思考力を育成する	2) 地歴・公民			
	3) 数学 ・基本的な概念、原理・法則の体系的な理 解 ・数学的な表現を用いた事象の考察の徹 底	3) 数学 ①週末課題プリントの改良及び配布とフィードバック ②小テストの実施とフィードバック	3) 数学			
	4) 理科 ・論理的思考力、表現力の育成 ・基礎・基本の定着	4) 理科 ①実験・観察のレポートやワークシートに結果や考察を記入 させる ②小テストを実施する	4) 理科			
	5) 英語 ・基礎・基本事項の定着 ・学習意欲を高めるための授業内容の 精選	5) 英語 ①語彙・文法・読解等の課題を与え、定期的に小テストを実 施し、事後指導まで行う ②積極的なITC教材の活用と興味を喚起する教材開発	5) 英語			

自己評価				学校運営協議会評価	次年度への課題と今後の改善方針	
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校運営協議会委員の意見		
生徒個々の進路希望を実現するための情報提供及びキャリア教育の推進	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見		
		<p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高大接続改革の情報共有や、生徒の学習・進路意識を喚起する集会を、各学年2回以上実施する。 ・共通テスト出願率65%以上を目指す。(R2 出願率65.8%) 	[進学課]			
		<p>2 進路指導の充実</p> <p>(1)進路への興味関心を喚起し、将来を見据えた望ましい職業観・勤労観を養う。</p> <p>(2)生徒の多様な能力、適性、進路希望に応じた、系統的・組織的な進路指導に取り組む。</p>	<p>[就職課]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公務員説明会を生徒の希望職種ごとに各1回以上開催すると共に、校外での説明会に積極的に参加させる。 ・2年生対象に本校主催のインターンシップを実施し、進路決定に関する意識の向上のため5名以上(R2はコロナ禍のため未実施)の参加者を目指す。 	[就職課]		
		<p>[キャリア形成支援課]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間の生徒の満足度70%以上(R2 66.7%) ・理数科学科の生徒の各活動に対する満足度83%以上(R2 83.1%) ・キャリア・パスポートの活用率75%以上(R2 70%) ・ポートフォリオの活用率75%以上(R2 70%) 	[キャリア形成支援課]			
		(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
		<p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路選択に関する生徒・保護者への情報提供を充実させる。 ・全教職員が一丸となった組織的かつ手厚い進路指導を継続する。 	<p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年やPTAと連携した進路保護者会等を学年毎に開催する。 ・進路だよりやClassi・学びポケットを活用し、生徒や保護者に進路指導や進学情報の発信を行う。 ・1・2年生の進路指導と3年生の受験指導に教職員全員で取り組む。 	[進学課]		
	<p>[就職課]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の情報源として、各種説明会や職場見学に加えてインターネットの活用を図る。 ・生徒のキャリア教育推進のための校外体験活動を推進する。 	<p>[就職課]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自衛官・刑務官・警察官等の説明会を実施する。また公務員模試を複数回実施する。 ・ハローワーク提供の高校向けインターネット求人情報を最大限に利用する。 ・生徒の希望する職種でインターンシップに協力してもらえ事業所を開拓する。 	[就職課]			
	<p>[キャリア形成支援課]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来への展望を持たせることにより、目標設定や社会に参画する意識を高め、社会的・職業的な自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育成する。 	<p>[キャリア形成支援課]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 総合的な探究の時間 ・フィールドワークなど生徒の探究活動への主体的な取り組みを推進する。 ・生徒が取り組んだ内容について、外部講師を招聘し、年間2回発表会を開催する。 2) キャリア・パスポートを作成・配布し、学期に1回以上生徒に記入させる。 3) ポートフォリオを学期に1回以上生徒に記入させる。 	[キャリア形成支援課]			

自己評価				学校運営協議会評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		
	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	
規範意識の一層の向上とルールを守りモラルやマナーを大切にす心、いじめをゆるさない心の育成	3 生徒指導の充実 (1) 基本的な生活習慣の確立を図り、節度と品位のある礼儀正しい生活態度を育成する。 (2) 生徒の生活状況に応じた指導や支援を行うとともに、安全教育を徹底する。 (3) いじめの早期発見、解決に努める。	[生徒指導課] 1) モラルや社会的マナーの指導の強化について、生徒・保護者の肯定回答を82%以上とする。 (R2 生徒82% 保護者81%) 2) 年間総遅刻数を前年に比べ10%削減する。 (R2 全学年総数1321名) 3) 軽微なものも含め、登下校時の交通事故件数を前年に比べ10%削減する。 (R2 交通事故件数 36件) 4) いじめを許さない指導。いじめアンケートを年3回実施する。	[生徒指導課]		
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
	[生徒指導課] 1) 道徳的・社会的マナーの指導と情報モラルの育成 ① 頭髪服装指導の強化 ② 情報機器の安全な使用方法と個人情報管理の徹底 2) 安全教育の徹底 3) いじめ調査アンケートの実施と活用	[生徒指導課] 1) 日常的に行うこととし、学校行事や学年集会では指導を徹底する。 ① 頭髪服装検査(年間3回必須、全体行事前) ② ネット被害の現状等講演会の実施 2) 立哨指導の継続と安全に対する意識の変容に努める。 ① 交通安全教室の開催(年1回全学年) ② 各学期ごとに一斉指導を実施 ③ クラス毎に年1回の交通安全ホームルーム活動を実施 ④ 学年集会での注意喚起 ⑤ 毎月20日マナーアップ活動の実施 3) 7月・12月・3月にいじめアンケートを実施し、現状把握すると共に担任面談等に活用する。	[生徒指導課]		

自己評価				学校運営協議会評価		次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標 (全校レベル)	評価指標と活動計画 評価指標	評価		学校運営協議会委員の意見	
			評価指標の達成度	総合評価・所見		
豊かな心を育み、幅広く調和のとれた人材の育成と人権教育活動の充実	4 人権教育の推進 (1)教育活動全体を通して人権についての知識と豊かな人間性を育成し、互いに尊重する態度を育成する。 (2)人権尊重の精神の涵養に努め、人権意識の高揚を図る。	[人権教育課] 1)人権ホームルーム活動に対する生徒の評価で肯定回答を76%以上にする。(R2 75%) 2)「人権教育関連学校行事」に対する生徒の評価で肯定回答を77%以上にする。(R2 76%) 3)各教科における人権学習・人権教育を計画的に実施する。(R2おおむね良好) 4)生徒対象の人権教育講演会を年1回以上実施し、満足度を76%以上とする。(R2 75%) 5)全体の人権教育職員研修会を年間1回実施する。(R2 8月に実施)	[人権教育課]			
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況			
	[人権教育課] 1)ホームルーム活動の充実 2)人権集会・人権週間に向けての取り組みの充実 3)各教科における人権学習・人権教育の推進 4)生徒対象の人権講演会の実施 5)人権教育教職員研修の充実	[人権教育課] 1)アンケートを実施し、社会の状況や生徒の学びに合わせて資料を集めて採択し、展開を工夫する。 2)人権集会・人権月間に向け、人権委員や社会問題研究会の部員を中心とした生徒による人権問題をテーマとした展示物を作成し、啓発に努める。 3)各教科において、年度当初に立てた計画に従って人権学習・人権教育を実施する。 4)人権教育に関する講演会を11月に実施する。 5)職員対象の人権教育研修会を7月に実施する。	[人権教育課]			

自己評価				学校運営協議会評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		
	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	
部活動のさらなる活性化を図るとともに、生徒会や各種委員会の諸活動を充実する。	<p>5 特別活動の充実</p> <p>(1) 生徒の主体的運営を基本として、各種活動に取り組むことのできる学校行事、生徒会活動の充実を図る。</p> <p>(2) 部活動を充実・活性化させ、生徒の精神面、体力面での成長を図るとともに、団結力や協力を育成する。</p>	<p>[特別活動課]</p> <p>1) 学校行事や生徒会など各種活動の活性化を図る。</p> <p>① 生徒会や各種委員会の活動の活性化を図る。各会で特徴ある活動を展開し教職員・生徒の評価で肯定回答を70%以上とする。(R2 教職員75%、生徒59%)</p> <p>② 学校行事(球技大会・学校祭・予備会など)を生徒主体で進め活性化を図る。教職員・生徒の評価で肯定回答を85%以上とする。(R2 教職員97%、生徒84%)</p> <p>2) 部活動入部率向上を目指し、3年間の継続活動を奨励する。部活動の教育貢献度の肯定回答を生徒・保護者で80%以上とする。(R2 生徒74%、保護者79%)</p>	[特別活動課]		
		(下位組織レベル)		活動計画の実施状況	
	<p>[特別活動課]</p> <p>1) 部活動連絡協議会を開催し、部活動の活性化を図り魅力ある活動を展開する。</p> <p>2) 生徒会活動・各種委員会の活性化。</p>	<p>[特別活動課]</p> <p>1) 部活動連絡協議会を年2回開催し、部活動の活性化を図る。</p> <p>2) 年2回の各種委員会を生徒主体の会とし、具体的な活動内容を話し合い、各学校行事の活性化を図る。</p>	[特別活動課]		

自 己 評 価				学校運営協議会評価	次年度への課題と 今後の改善方策	
重点課題	重点目標 (全校レベル)	評価指標と活動計画 評価指標	評 価			学校運営協議会委員の意見
			評価指標の達成度	総合評価・所見		
環境問題の理解と 身の回りの環境美 化実践および防災 意識の啓発	<p>6 安全・環境教育の推進 (1) 自他の生命や健康・安全を尊重する態度を養い、事故の未然防止に努める。 (2) 災害発生時に適切な対応ができる体制作りを努める。 (3) 校内環境を整え、公共心や豊かな情操を育成する。</p>	<p>[環境防災課]</p> <p>1) 2) ゴミの分別・資源保護・清掃活動等の取り組みについて肯定回答80%以上(R2 79.3%)を目指す。</p> <p>3) 年間に防災避難訓練を2回、机下避難訓練を2回実施する。防災クラブの活動を進める。</p>	[環境防災課]			
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況			
	<p>[環境防災課]</p> <p>1) 環境委員会を中心にさまざまな活動を通して環境問題についての意識啓発をする。 2) 生徒会と環境委員会を中心として啓発を推進する。 3) 防災委員会の活動を通して、知識や実践力を身につける。</p>	<p>[環境防災課]</p> <p>1) 生徒・職員で毎日清掃作業を行う。 2) ゴミ分別や節電、節水、紙のリサイクル活動を推進する。 3) 防災研修会への参加や防災に関する学校行事を行う。防災クラブ活動を進め、防災意識の啓発を進める。</p>	[環境防災課]			

自己評価				学校運営協議会評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		
	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	
運営組織の活性化と教職員研修の充実	7 学校の運営体制の充実 (1)教職員全体の共通理解のもと目標達成・課題解決のために組織的に取り組むとともに、危機管理体制の確立を図る。 (2)風通しの良い職場環境づくりを通じたコンプライアンスの推進及び学校における働き方改革の推進に努める。	[情報教育課] 1)情報セキュリティおよびGIGAスクール推進のための研修を、月2回程度実施する。	[情報教育課]		
		[コンプライアンス委員会] 1)職員会議など日常の機会をとらえての全教職員に対する啓発・研修を年間15回以上、外部講師による教職員研修を年1回以上実施する。 2)教職員間の報告・連絡・相談を円滑にするとともに、様々なリスクに対する危機管理意識を高める。 3)業務の精選・改善を推進し、教職員の在校等時間の縮減を図る。	[コンプライアンス委員会]		
		[保健厚生課] 1)教職員対象の救急救命講習会を1学期に実施する。 2)教職員対象の健康相談会を2学期に実施する。	[保健厚生課]		
		[特別支援教育課] 1)特別支援教育研修を1回実施する。 2)学校生活において支援の必要な生徒について校内で共通理解を図る。	[特別支援教育課]		
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
	[情報教育課] 1)教職員研修の充実 2)GIGAスクール構想の推進	[情報教育課] 1)クラウドを用いて各教員が実施できる研修を月2回程度設定し、各自で取り組んでもらう。 2)Classなどの使用法活用法を定期的に紹介し、学年単位・クラス単位の情報発信を活性化させる。	[情報教育課]		
	[コンプライアンス委員会] 1)教職員研修の充実 2)円滑なコミュニケーションの促進と風通しの良い職場環境づくり 3)ワークライフバランスの推進とメンタルヘルスの保持増進	[コンプライアンス委員会] 1)年間2回以上の推進期間及び随時適切な機会を設けて、バランスのとれた啓発・研修を行う。 2)危機管理に関する具体的な事例に基づく研修を実施する。 3)業務の棚卸しやICT活用による効率化等を行い、教職員の業務負担を軽減する。	[コンプライアンス委員会]		
	[保健厚生課] 1)教職員対象の救急救命講習の充実 2)教職員対象の健康相談会の実施	[保健厚生課] 1)教職員対象の救急救命講習会を2学期(10/14(木)予定)に実施する。 2)教職員対象の健康相談会を2学期(12/10(金)予定)に実施する。	[保健厚生課]		
[特別支援教育課] 1)特別支援を必要とする生徒や学校生活が困難な生徒へのケアを図る。	[特別支援教育課] 1)教職員対象の特別支援教育について理解を深める研修会を実施する。 2)特別支援の対象となる生徒について校内で理解を深めるケース会議を開催する。 3)必要のある生徒には、スクールカウンセリングの制度を積極的に活用し、支援していく。	[特別支援教育課]			

自己評価				学校運営協議会評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標 (全校レベル)	評価指標と活動計画 評価指標	評価		
			評価指標の達成度	総合評価・所見	
学校外との交流・連携やHPによる広報活動のさらなる活性化とボランティア活動を支援する校内組織づくりの推進	8 地域とともにある学校づくりの推進 (1)学校評価を充実させ、地域と一体となり生徒を育成する地域とともにある学校を目指す。	[学校評価委員会] 1)保護者学校評価アンケートの回収率83%以上をめざす。 (R2 82.9%)	[学校評価委員会]		
		[情報教育課] 1)ホームページ更新を250回以上実施する。Classiなどを用いた学年・クラス単位の情報発信を月1回以上行う。	[情報教育課]		
		[国際交流課] 1)ドイツ姉妹校とのオンライン交流を定期的に行う。 2)県内における国際交流の活動を周知し、積極的な参加を呼びかける。 3)本校ALT(外国語指導助手)との交流を通して、県内におけるスピーチコンテストへの積極的な参加を呼びかける。	[国際交流課]		
		[特別活動課] 1)ボランティア活動の積極的な参加を呼びかける。	[特別活動課]		
		[総務課] 1)各種PTA活動を活性化させ、保護者の積極的なPTA総会参加を呼びかける。 2)業務を円滑に遂行する。	[総務課]		
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
	[学校評価委員会] 1)学校評価を充実させ、次年度の更なる改善に役立てる。	[学校評価委員会] 1)職員・生徒・保護者アンケート及び学校関係者評価委員会を実施する。	[学校評価委員会]		
	[情報教育課] 1)ホームページなどによる情報発信を活性化させる。	[情報教育課] 1)ホームページ更新とともに、Classiなどを用いた学年・クラス単位の情報発信を促し、学年主任や担任の支援を行う。	[情報教育課]		
	[国際交流課] 1)ドイツ姉妹校交流の推進 2)徳島県内におけるスピーチコンテストへの参加の促進	[国際交流課] 1)全校生徒にドイツ姉妹校交流を紹介し、積極的に参加するよう呼びかける。 2)県内におけるスピーチコンテストについて、全校生徒、教職員に周知し、積極的な参加を呼びかける。	[国際交流課]		
	[特別活動課] 1)ボランティア活動の活性化。	[特別活動課] 1)ボランティア活動の案内の周知を徹底し、積極的な参加を呼びかける。	[特別活動課]		
[総務課] 1)PTA活動の円滑な運営と充実 2)学校行事・式典時における外部との連絡調整	[総務課] 1)PTA活動における各種連絡調整や研修などの企画提案を行う。 2)城北祭での保護者への積極的な参加を呼びかけや卒業式での外部との連絡を密に行う。 3)創立80周年記念式典を円滑に執り行う。	[総務課]			